

鞍手地区点検評価委員会の意見書

令和3年8月16日

宮若市教育委員会 殿

点検評価委員会

委員長 福岡教育大学教授

委員 宮若市

委員 鞍手町

委員 小竹町

豊島啓司

波正陽

石松和彦

高津由紀

令和2年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙
のとおり意見を付して報告いたします。

(別紙)

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員活動については、コロナ禍の中、公式行事が縮小され、学校の開放日における現場の状況確認もできなくなったが、年2回の学校経営説明で、校長等より各学校の方針・課題について確認している。また、委員会及び活動には、委員全員が参加できるよう日程調整がされ、良好に実施運営されている。
教育施策の主要施策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新教育課程への取組みは、学習の内容まで踏み込んでいるため、学校現場は非常に困難状況であり、GIGAスクールの実績もだす必要もあるが、そのような中で、みやわか教師塾など独自の研修体制があり、教員育成に力を注いでいる。教員の超過勤務防止については、県内の他市ではシステムを構築して、持ち帰り業務ができるようしているところもあり、コロナ感染拡大状況の中、休業中の子どもの学習環境の確保が急がれる中、台風・大雨による休業に備えて、月1回のオンライン授業を行い、教員が対応できるよう取り組んでいる事例もあるので、参考に今後そのような取り組みに対応することが必要と考える。 ○ 生涯学習の推進については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止する事業もあったが、家庭で読み聞かせを促すなど、拡大防止を図りながら工夫を凝らした事業を実施した中で、課題等を把握し、今後の事業展開に対して考察するよう努めている。
取組・事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍の中で、学力向上プロジェクトE事業をはじめ、学校において、感染防止対策行っているので、引き続き対策を取りながら、事業等を進めていただきたい。 ○ GIGAスクール構想の中、一人一台の端末が整備され、家庭での使用に対し、対策を進めているようなので、今後も家庭学習で有効に利活用できるような環境の整備を進めていただきたい。 ○ 特別支援教育支援員に対して、児童・生徒の個々の状況に応じた対応ができるよう引き続き研修体制の実施が必要である。 ○ コロナ禍の中、図書館の利用及び図書貸出しにも影響が出てくると感じたが、館内に消毒器を設置するなど感染防止対策をとり、来館者については減少している状況は理解できるが、貸出冊数は例年に比べてあまり減少していないことが評価できる。

別紙様式 2

令和 2 年度 教育委員会点検評価書

	事業の区分	事業の内容及び状況並びに評価						
教育委員会の開催状況	<p>【定例教育委員会】</p> <p>【臨時教育委員会】</p> <p>【その他】</p>	<p>開催回数 <u>12回</u> 、 議案数 <u>27件</u></p> <p>【議案の内訳】</p> <p>条例・規則等 <u>10件</u> 予算案 <u>1件</u> 計画・方針案 <u>3件</u> 人事案 <u>7件</u> その他 <u>6件</u></p> <p>開催回数 <u>2回</u></p> <p>開催理由 教職員人事について 管理・就学援助規則の一部改正 学生支援給付金事業要綱・学校給食費管理規則の制定 教職員の服務について</p> <p>【研修等委員会協議活動以外の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="573 1051 1394 1215"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施回（日）数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭、音楽祭</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>学校経営説明会</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	実施回（日）数	入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭、音楽祭	3	学校経営説明会	5
内 容	実施回（日）数							
入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭、音楽祭	3							
学校経営説明会	5							
教育施策の主要施策	<p>生涯学習の推進</p> <p>教育施設の整備</p>	<p>○ 子ども読書推進事業の読書啓発事業補助金を活用し、家族で好きな本を読んだ後に本の感想を話し、記録することでコミュニケーションをとることを目的とした家読貸出セットを用意し、事業の促進を図った。</p> <p>○ 本を紹介する P O P を中学生に作成してもらい、応募された作品については市立図書館の展示スペース等を使い、本とともに展示した。並行して、図書館の来館者に向けて、POP 作品の投票を促し、POP 大賞を決めるとき同時に、作成者への感想などを書くメッセージカードを設置した。</p> <p>○ 旧宮田光陵中学校跡地に建設予定の宮若東中学校区再編小学校、（光陵小学校）、共同給食調理場、学童・子育て支援センターの建設工事に着手し、令和 4 年 3 月初旬完成にむけて事業を進めている。</p>						

学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校休業に伴い、例年より遅れてスタートした「みやわかアフター・スクール」業務委託を実施し、家庭学習時間の確保と学習の定着を図った。 ○ 国の臨時交付金を活用し、普通学級への電子黒板導入を完了した。 ○ 国のG I G Aスクール構想に伴い、校内無線LAN整備を含めた児童生徒1人1台タブレット端末の整備を実施し、これに伴う急速なICT化に伴い、G I G Aスクールサポートーの任用及びICT支援員業務を委託し、ICT活用支援を行った。 ○ SSW配置について、小学校を拠点とした常勤2名体制を図り、相談体制を推進した。 ○ 給食費の管理について、システムの構築など私会計から公会計に移行する準備を行った。
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成人式以外のほとんどの事業については、中止となり、少年の主張大会は、表彰式のみで発表文集を配布した。
人権教育・啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育・啓発活動の推進を図るため、啓発冊子・人権カレンダーを作成し、市内全戸配布を行った。 ○ 同和問題啓発強調月間における人権講演会及び人権問題地域懇談会、街頭啓発活動は中止した。
生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツフェスタについては、新型コロナウィルスの影響で中止となった。 ○ 総合型スポーツクラブについては、中止期間もあったが、令和2年度会員数102名、11事業を実施し延べ1,276名の参加を得ており、市民のスポーツ活動の一環として定着している。 ○ 体育協会は、市民の自発的なスポーツ活動の振興及び普及を図り、スポーツを通して市民の健康で活力のある豊かな生活の創造に資することを目的に活動を行っている。

地域文化の育成

- 主催コンサート3回、生涯学習センターのエントランスで実施した。来場者：83人 2・3月のコンサートではライブ配信を行い、Facebook、YouTube、インスタグラムで累計285名の視聴があった。
- 地域住民のためのコンサートとして、三井住友海上文化財団の助成を受け、NHK交響楽団と日本のトップアーティストによるコンサートを開催する予定であったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため延期した。
- 「古屋敷遺跡」の調査報告書を作成した。
- 市民文化祭を展示のみ開催した。来場者：450人、出展者：24団体248人であった。
- 若宮西小学校跡地の地域のコミュニティセンター機能を併せ持つ文化財収蔵・展示施設の整備に向けた基本・実施設計の策定を行った。

	主な実施事業	関係総予算額	内 容
取組・事業の状況	図書資料	千円 16, 000	平成29年度からふるさと納税寄附金のうち150万円を児童書購入費として活用し、蔵書数の充実に努めた。
	トイレ洋式化改修工事	15, 194	宮田南小学校及び宮田北小学校のトイレの大便器について、和式から洋式への変更と、それに伴うトイレブースの改修を行った。（箇所数：宮田南小学校12箇所、宮田北小学校14箇所）
	宮若東中学校区再編小学校等整備	1, 904, 374	旧宮田光陵中学校跡地にて、宮若東中学校区再編小学校、共同給食調理場、学童・子育て支援センターの建設工事に着手し、令和4年3月初旬に完成予定。施設完成後は、3月末に引越を行い、4月に開校としている。
	学力向上プロジェクトE事業	30, 715	放課後学習事業「みやわかアフター・スクール」のさらなる内容充実と地域と協働した運営体制整備を検討した。
	教育支援センターの運営	16, 924	不登校児童生徒及び保護者への相談体制の充実に取組んだ。
	特別支援教育推進事業	20, 884	特別な支援を必要とする児童生徒のスムーズな就学に向けた保幼小中の連携と特別支援教育に係る教員の資質の向上に向けて取組んだ。
	国際理解教育の推進	25, 961	小学校教員の指導力向上に努めた。

情報教育の推進	270, 486	国の GIGA スクール構想に伴う 1 人 1 台端末整備に向けた取組みを推進し、教員の指導力向上のための I C T 支援員の配置や電子黒板の導入により、I C T 機器を活用した授業力向上の取組や家庭学習における活用促進の検討を行った。
学校運営協議会設置の推進（コミュニティ・スクール）	1, 275	宮若東中学校区における学校運営協議会設置に向けて検討している。
小中一貫校給食調理等の民間委託	23, 602	給食調理等業務をプロポーザルで選定した民間業者に委託して実施した。
地産地消の推進	3, 222	地産地消推進のため、学校給食で宮若産良食味米を提供。加工場が被災したため、宮若牛の提供はできなかった。
給食費管理の公会計化	40	給食費の管理について私会計から公会計に移行する準備を行った。
サマーチャレンジ・スプリングチャレンジ	122	開催には、新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策を講じることが必要である。
子育てサロン	28	開催には、高校と新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策等、協議が必要である。
家庭教育講座	742	託児を含め、新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策を講じながらの講座の企画、運営が必要である。

人権カレンダー・人権啓発冊子	2, 070	人権教育・啓発活動の推進を図るため、啓発子・人権カレンダーを作成し、市内全戸配布を行った。
リコリスエントラースコンサート	348	新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策を講じながらの開催が必要である。
発掘調査報告書の作成	233	以前に発掘調査を実施し、報告書が未刊となっている発掘調査報告書の作成に今後も取り組む。
宮若市文化祭	321	市民文化祭を開催した。 展示の部 来場者450人、24団体248人であった。
若宮西小学校跡地の文化財収蔵・展示(コミュニティセンター機能を含む)施設基本構想・基本計画の策定	11, 799	施設内の配置、必要備品、収納する文化財等について検討を行ったが、今後の工事実施に伴い、関係機関・地元との連携を密にとる必要がある。